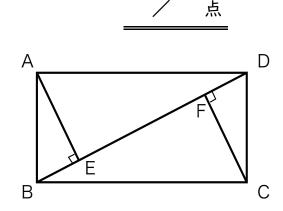
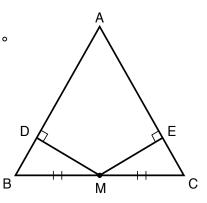
直角三角形の合同証明 練習 |

学習日;



2 右の図で、△ABCはAB=ACの二等辺三角形である。 点Mを通る直線Iに、点A、Bからそれぞれ 垂線AC、BDをひく。

このとき、MD=MEとなることを証明しなさい。



解答

I △ABEと△CDFにおいて

仮定より、垂線なので ∠AEB = ∠CFD = 90° ······①

長方形の向かい合う辺は等しいので

 $AB = CD \cdots 2$

AB // DC であり、平行線の錯角は等しいので

 $\angle ABE = \angle CDF \cdots 3$

①、②、③より 直角三角形の斜辺とIつの鋭角がそれぞれ等しいから

 $\triangle ABE \equiv \triangle CDF$

2 ΔMDBとΔMECにおいて

仮定より、垂線なので∠MDB = ∠MEC = 90° ······①

点Mは辺BCの中点なので

 $MB = MC \cdots 2$

△ABCは二等辺三角形であり、底角は等しいので

∠DBM = ∠ECM······③

①、②、③より 直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいので

 \triangle MDB $\equiv \triangle$ MEC

合同な図形の対応する辺は等しいので

MD = ME